



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

機構ニュース

Vol.157 2016 June

今月の記事

Top News

○ INQAAHE2016 メンバーフォーラム、
APQN年次会合に出席1

学位授与事業

**短期大学・高等専門学校卒業者等を対象
とする単位積み上げ型の学位授与関係**

短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする
単位積み上げ型の学位授与

○329人から学士の学位授与の申請ー平成28
年度4月期申請分ー2

○2,281人に学士の学位を授与ー平成27
年度10月期申請分ー4

○これまでの学位授与の状況（学士）
.....6

○短期大学及び高等専門学校の専攻科認定状況
.....7

**機構認定の教育施設（各省庁大学校）の
課程修了者への学位授与関係**

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修
了者への学位授与

○52人から修士の学位授与の申請ー大学院
修士課程相当の課程修了者ー8

○8人から博士の学位授与の申請ー大学院博
士課程相当の課程修了者ー8

○これまでの学位授与・課程認定の状況
.....9

質保証連携

**諸外国の質保証制度・動向情報の収集・
整理・提供**

○平成28年度大学質保証フォーラム開催決定
.....11

機構の窓

○会議の開催状況12

○委員の異動14

主要行事日程

○Schedule（6月～8月）18

TOP NEWS

OINQAAHE2016メンバーフォーラム、APQN 年次会合に出席

平成28年5月23日から5月24日にかけて、各国・地域から200以上の高等教育質保証機関や大学等が加盟する高等教育質保証機関国際ネットワーク（INQAAHE）のメンバーフォーラム、また、5月26日から27日にかけて、アジア太平洋質保証ネットワーク（APQN）の年次会合が、フィジーのシンガトカにおいてそれぞれ開催されました（主催機関：Fiji Higher Education Commission（FHEC））。当機構は両ネットワークの正会員であり、INQAAHEのメンバーフォーラムには、川口顧問及び3名の国際課職員、APQNの年次会合には、岡本理事、川口顧問、土屋研究開発部教授及び3名の国際課職員が出席しました。

INQAAHEのメンバーフォーラムでは、「課題に挑む時期における高等教育質保証」をテーマに、基調講演では、「ベンチマーキングとピアレビュー：連携協力を通じた質の確保」、「変動する環境下における質保証：要求の多様化に直面して」に関する報告がありました。このほか、ジョイント・ディグリーの質保証や外部質保証の役割・影響等について発表があった後、参加者間でこれらのテーマに対してディスカッションを行うセッションが設けられました。

最後の全体総会では、会長及び事務局から活動報告があり、2017年の隔年次総会は、中東のバーレーンにて、また2018年のメンバーフォーラムは、インド洋のモーリシャスにて開催すること等が発表されました。

APQNの年次会合は、「高等教育質保証の持続可能な開発」をテーマに、2つの基調講演では、欧州の登壇者による国境を越えた教育に対する質保証の現状・課題や、アフガニスタンの登壇者より同国における高等教育制度や質保証の取組について報告がありました。この他、APQNが始めた質保証機関登録簿制度の説明や、フィジーをはじめとした太平洋地域による質保証の取組の報告が行われました。国境を越えた教育に対する質保証に関しては、複数の講演やセッションがあり、当機構の岡本理事からも日中韓3国の共同事業である「キャンパス・アジア」モニタリングの取組の成果について報告を行いました。また、同会合の分科会では、当機構の土屋教授が議長の一人を務めました。最後の全体総会では、会長及び事務局から活動報告があり、新会長として新たに Jianxin Zhang 氏が選出されたこと、また来年の年次会合の開催国としてパキスタン、ロシアなど3ヶ国が立候補していること等の報告がありました。

今回の会合には、海外より200名近い質保証機関の関係者が参加しており、当機構においても会議外で覚書締結機関の関係者等と懇談を行うなど、貴重な情報交換の機会となりました。



発表する岡本理事



INQAAHE 会長と機構のINQAAHE 参加者

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

■短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与

〇329人から学士の学位授与の申請 ー平成28年度4月期申請分ー

短期大学、高等専門学校卒業者及び専門学校修了者等316人から、21専攻分野40専攻の区分にわたり学士の学位授与の申請がありました。

この申請に係る学位授与の審査は、平成28年5月13日（金）開催の学位審査会において機構長から学位授与の可否について審査の付託があり、学位審査会では、修得単位の審査及び学修成果・試験の審査を担当する専門委員会の指定が行われました。

各専門委員会における修得単位の審査及び学修成果・試験の審査を経て、平成28年8月19日（金）開催の学位審査会で最終審査が行われ、合格者には平成28年9月末までに学士の学位を授与する予定です。

なお、申請に当たっては、インターネットを利用して申請ができる「電子申請システム」が平成20年度から導入され、郵送申請とあわせて利用されています。

また、高等専門学校の特例適用専攻科修了見込み者13人から、1専攻分野1専攻の区分への特例による学士の学位授与の申請がありました。

この申請に係る学位授与の審査は、平成28年5月13日（金）開催の学位審査会において機構長から学位授与の可否について審査の付託があり、学位審査会では、修得単位の審査及び学修総まとめ科目の履修に関する審査を担当する専門委員会の指定が行われました。

各専門委員会における修得単位の審査及び学修総まとめ科目の履修に関する審査を経て、平成28年8月19日（金）開催の学位審査会で最終審査が行われ、合格者には平成28年9月末までに学士の学位を授与する予定です。

<平成28年度4月期学士の学位授与申請者数>

（基礎資格別）

基 礎 資 格	申請者数（人）
短 期 大 学 卒 業 者	87
高 等 専 門 学 校 卒 業 者	25 (13)
専 門 学 校 修 了 者	185
大 学 中 退 者	22
飛 び 級	0
大 学 卒 業 者	10
外 国 資 格	0
合 計	329 (13)

※（）内は特例適用専攻科修了見込での申請者数で内数。

（専攻の区分別）

専攻分野の名称	専 攻 の 区 分	申請者数（人）
文 学	国 語 国 文 学	1
	英 語 ・ 英 米 文 学	1
	歴 史 学	1
	哲 学	1
	心 理 学	1
教 育 学	教 育 学	19
神 学	神 学	1
社 会 学	社 会 福 祉 学	1
教 養	地 域 研 究	1
	科 学 技 術 研 究	1
社 会 科 学	社 会 科 学	2
法 学	法 学	1
政 治 学	政 治 学	1

(見込み申請者の内訳)

区 分	申請者数 (人)
短期大学専攻科修了見込者	0
高等専門学校専攻科修了見込者	13 (13)
合 計	13 (13)

※ ()内は特例適用専攻科修了見込での申請者数で内数。

経 済 学	経 済 学	3
商 学	商 学	1
理 学	数 学 ・ 情 報 系	2
	物 理 学 ・ 地 学 系	1
	化 学 系	2
	生 物 学 系	1
	総 合 理 学	2
薬 科 学	薬 科 学	2
看 護 学	看 護 学	193
保 健 衛 生 学	検 査 技 術 科 学	6
	臨 床 工 学	14
	放 射 線 技 術 科 学	13
	理 学 療 法 学	6
	作 業 療 法 学	2
	言 語 聴 覚 障 害 学	2
口 腔 保 健 学	口 腔 保 健 衛 生 学	2
柔 道 整 復 学	柔 道 整 復 学	1
栄 養 学	栄 養 学	8
工 学	機 械 工 学	5
	電 気 電 子 工 学	4
	情 報 工 学	3
	土 木 工 学	1
	社会システム工学	1
商 船 学	商 船 学	13 (13)
家 政 学	家 政 学	1
芸 術 学	音 楽	4
	美 術	4
合 計		329 (13)

※ ()内は特例適用専攻科修了見込での申請者数で内数。

〇2,281人に学士の学位を授与 ―平成27年度10月期申請分―

平成27年度10月期に学士の学位授与申請のあった短期大学、高等専門学校卒業者及び専門学校修了者等2,373人のうち、2,281人に対し学士の学位を授与しました。

今回の学士の学位授与については、関係各専門委員会で行われた修得単位の審査及び学修成果・試験の審査の結果等に基づき、平成28年2月12日（金）開催の学位審査会において審査が行われました。

〈平成27年度10月期学士の学位授与申請者数及び取得者数〉

専攻分野の名称	専攻の区分	申請者数（人）	取得者数（人）
文 学	国 語 国 文 学	7	6
	英 語 ・ 英 米 文 学	2	1
	歴 史 学	6 (5)	6 (5)
	心 理 学	2	2
教 育 学	教 育 学	184 (70)	171 (69)
社 会 学	社 会 学	2	2
教 養	比 較 文 化	3	2
	地 域 研 究	1	1
	科 学 技 術 研 究	2	1
学 芸	比 較 文 化	1	1
	科 学 技 術 研 究	1	1
社 会 科 学	社 会 科 学	1	1
法 学	法 学	3	2
政 治 学	政 治 学	2	2
経 済 学	経 済 学	1	0
経 営 学	経 営 学	7 (2)	7 (2)
理 学	数 学 ・ 情 報 系	3	0
	生 物 学 系	1	0
	総 合 理 学	3	1
看 護 学	看 護 学	299 (18)	281 (18)
保 健 衛 生 学	検 査 技 術 科 学	20 (12)	19 (12)
	臨 床 工 学	1	1
	放 射 線 技 術 科 学	20	17
	理 学 療 法 学	20	20
	作 業 療 法 学	1	1
	言 語 聴 覚 障 害 学	2	2
口 腔 保 健 学	口 腔 保 健 衛 生 学	52 (28)	52 (28)
	口 腔 保 健 技 工 学	5	5
栄 養 学	栄 養 学	68 (20)	58 (18)

工 学	機 械 工 学	396 (270)	388 (266)
	電 気 電 子 工 学	473 (435)	463 (428)
	情 報 工 学	212 (196)	210 (194)
	応 用 化 学	183 (171)	181 (169)
	生 物 工 学	38 (37)	38 (37)
	材 料 工 学	33 (26)	32 (26)
	土 木 工 学	134 (121)	132 (120)
	建 築 学	73 (62)	72 (61)
	社 会 シ ス テ ム 工 学	9 (5)	7 (5)
芸 術 工 学	芸 術 工 学	1 (1)	1 (1)
商 船 学	商 船 学	2	1
農 学	農 学	1	1
家 政 学	家 政 学	5	4
芸 術 学	音 楽	40	38
	美 術	52 (31)	49 (30)
体 育 学	体 育 学	1	1
合 計		2,373 (1,510)	2,281 (1,489)

※ ()内は特例適用専攻科修了見込での申請者数で内数。

○これまでの学位授与の状況（学士）

＜平成4年度～平成27年度＞

専攻分野の名称	専攻の区分	取得者数	専攻分野の名称	専攻の区分	取得者数
文 学	国 語 国 文 学	203	看 護 学	看 護 学	5,858
	英 語 ・ 英 米 文 学	135	保 健 衛 生 学	検 査 技 術 科 学	1,118
	独 語 ・ 独 文 学	5		臨 床 工 学	75
	仏 語 ・ 仏 文 学	12		放 射 線 技 術 科 学	2,212
	中 国 語 ・ 中 国 文 学	3		理 学 療 法 学	635
	ロシア語・ロシア文学	1		作 業 療 法 学	324
	歴 史 学	90		言 語 聴 覚 障 害 学	18
	哲 学	11		視 能 矯 正 学	3
	心 理 学	58	鍼 灸 学	鍼 灸 学	133
	宗 教 学	46	口 腔 保 健 学	口 腔 保 健 衛 生 学	298
教 育 学	教 育 学	3,043		口 腔 保 健 技 工 学	21
神 学	神 学	23	柔 道 整 復 学	柔 道 整 復 学	3
社 会 学	社 会 学	28	栄 養 学	栄 養 学	2,531
	社 会 福 祉 学	71	工 学	機 械 工 学	6,196
教 養	比 較 文 化	13		電 気 電 子 工 学	7,159
	地 域 研 究	123		情 報 工 学	2,442
	国 際 関 係	7		応 用 化 学	2,592
	科 学 技 術 研 究	18		生 物 工 学	425
学 芸	比 較 文 化	4		材 料 工 学	560
	地 域 研 究	18		土 木 工 学	2,214
	国 際 関 係	3		建 築 学	1,131
	科 学 技 術 研 究	23		社 会 シ ス テ ム 工 学	85
社 会 科 学	社 会 科 学	31	芸 術 工 学	芸 術 工 学	383
法 学	法 学	93	商 船 学	商 船 学	151
政 治 学	政 治 学	24	農 学	農 学	136
経 済 学	経 済 学	69	水 産 学	水 産 学	6
商 学	商 学	72	家 政 学	家 政 学	110
経 営 学	経 営 学	223	芸 術 学	音 楽	1,211
理 学	数 学 ・ 情 報 系	29		美 術	3,458
	物 理 学 ・ 地 学 系	26	体 育 学	体 育 学	85
	化 学 系	18	合 計		46,171
	生 物 学 系	35			
	総 合 理 学	36			
薬 学	薬 学（～H21）	2			
薬 科 学	薬 科 学	2			

○短期大学及び高等専門学校の専攻科認定状況

平成 28 年 4 月 1 日現在

	区 分	平成 27 年度末時点 既認定専攻科数(a)	平成 28 年度 新規認定専攻科数(b)	平成 28 年度 認定専攻科総数(a+b)
短 期 大 学 専 攻 科	文 学	4 [3]		4 [3]
	教 育 学	25 [22]		25 [22]
	社 会 学	1		1
	教 養	5 [3]		5 [3]
	看 護 学 ※	8		8
	保 健 衛 生 学 ※	4		4
	口 腔 保 健 学	6 [1]		6 [1]
	家政学・栄養学	11 [9]		11 [9]
	工学・芸術工学	2 [2]		2 [2]
	芸 術 学	9 [7]		9 [7]
	計	47 校 75 専攻[47]	0 校 0 専攻[0]	47 校 75 専攻[47]
高 等 専 門 学 校 専 攻 科	経済・商学・経営	2 [2]		2 [2]
	工学・芸術工学	114 [114]	2 [2]	116 [116]
	商 船 学	5 [5]		5 [5]
	計	56 校 121 専攻[121]	2 校 2 専攻[2]	56 校 123 専攻[123]
合 計		103 校 196 専攻[168]	2 校 2 専攻[2]	103 校 198 専攻[170]

(注 1) ※印の区分については、3 年制の短期大学に置かれる 1 年制の専攻科である。

(注 2) [] 内は、2 年制の専攻科で内数。

(注 3) 「合計」欄の学校数については、実数を記載（同一校において他の専攻科を認定したこと等により単純に累計とならない）。

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与関係

■機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与

〇52 人から修士の学位授与の申請 ー大学院修士課程相当の課程修了者ー

大学院の修士課程に相当する教育を行う課程として認定されている各省庁大学校の平成 28 年 3 月修了者 52 人から、修士の学位授与の申請がありました。

この申請に係る学位授与の審査は、平成 28 年 5 月 13 日（金）開催の学位審査会において、機構長から学位授与の可否についての審査の付託があり、これを受けて学位審査会では、論文の審査及び試験を担当する専門委員会として、社会科学、理学、看護学・保健衛生学・鍼灸学、工学・芸術工学、水産学が指定されました。

各専門委員会における論文の審査及び口頭試問を経て、平成 28 年 8 月 19 日（金）開催の学位審査会で最終審査が行われ、平成 28 年 9 月 2 日（金）に学位記伝達式を行い、合格者には各大学校を通して修士の学位を授与する予定です。

<修士の学位授与申請者数>

認 定 課 程 名	専攻分野	申請者数 (人)
防衛大学校 理工学研究科（前期課程）	理 学 工 学	3 38
防衛大学校 総合安全保障研究科（前期課程）	安全保障学	4
独立行政法人水産大学校 水産学研究科	水 産 学	6
国立看護大学校 研究課程部看護学研究科 （前期課程）	看 護 学	1
合 計		52

〇8 人から博士の学位授与の申請 ー大学院博士課程相当の課程修了者ー

大学院の博士課程に相当する教育を行う課程として認定されている防衛大学校理工学研究科（後期課程）、防衛大学校総合安全保障研究科（後期課程）の平成 28 年 3 月修了者 8 人から、博士の学位授与の申請がありました。

この申請に係る学位授与の審査は、平成 28 年 5 月 13 日（金）開催の学位審査会において、機構長から学位授与の可否についての審査の付託があり、これを受けて学位審査会では、論文の審査及び試験を担当する専門委員会として、社会科学、工学・芸術工学が指定されました。

各専門委員会における論文の審査及び口頭試問を経て、平成 28 年 8 月 19 日（金）開催の学位審査会で最終審査が行われ、平成 28 年 9 月 2 日（金）に学位記伝達式を行い、合格者には各大学校を通して博士の学位を授与する予定です。

<博士の学位授与申請者数>

認 定 課 程 名	専攻分野	申請者数 (人)
防衛大学校 理工学研究科（後期課程）	工 学	6
防衛大学校 総合安全保障研究科（後期課程）	安全保障学	2
合 計		8

○これまでの学位授与・課程認定の状況

1 学士（大学の学部に対応する教育を行う課程）

認定教育課程	認定年月日	修業 年限	入学 定員	取得者数 H27	取得者数 累計	授与する学位（専攻名）
防衛医科大学校医学教育部医学科	平成3年8月30日	6年	80	74	1,581	学士（医学）
防衛大学校本科	平成3年12月18日	4年	530	439	10,038	学士（理学、工学、人文 科学または社会科学）
独立行政法人水産大学校本科	平成3年12月18日	4年	185	186	4,450	学士（水産学）
海上保安大学校 本科	平成3年12月18日	4年	60	48	966	学士（海上保安）
気象大学校 大学部	平成3年12月18日	4年	15	10	337	学士（理学）
職業能力開発総合大学校長期課程 ※平成27年度末廃止予定	平成3年12月18日	4年	120	5	4,923	学士（工学）
国立看護大学校看護学部看護学科	平成13年3月26日	4年	100	101	1,142	学士（看護学）
職業能力開発総合大学校総合課程	平成24年2月13日	4年	80	64	64	学士（生産技術）
合 計				927	23,501	

2 大学院の修士課程に対応する教育を行う課程

認定教育課程	認定年月日	修業 年限	入学 定員	取得者数 H27		取得者数 累計		授与する学位 （専攻名）
防衛大学校理工学研究科前期課程	平成3年12月18日	2年	90	52	(9)	1,501	(31)	修士 （理学または工学）
職業能力開発総合大学校研究課程 ※平成24年度末廃止	平成3年12月18日	2年	-	-	-	470	(78)	修士（工学）
独立行政法人水産大学校 水産学研究科	平成6年6月23日	2年	10	10	(1)	204	(23)	修士（水産学）
防衛大学校 総合安全保障研究科前期課程	平成9年3月11日	2年	20	16	(14)	294	(86)	修士（安全保障学） 平成14年度まで は「社会科学」
国立看護大学校研究課程部 看護学研究科前期課程	平成17年2月10日	2年	15	10	(5)	80	(46)	修士（看護学）
職業能力開発総合大学校 長期養成課程職業能力開発研究学域	平成28年2月12日	2年	20	-	-	-	-	修士（生産工学） ※検討中
合 計				88	(29)	2,549	(264)	

（ ）内は修了見込申請で内数

3 大学院の博士課程に相当する教育を行う課程

認 定 教 育 課 程	認 定 年 月 日	修業 年限	入学 定員	取得者数 H27		取得者数 累 計		授与する学位(専攻名)
防衛医科大学校 医学教育部医学研究科	平成 3 年 8 月 30 日	4 年	30	20	(0)	440	(0)	博士(医学)
防衛大学校理工学研究科後期課程	平成 13 年 3 月 12 日	3 年	20	9	(4)	71	(4)	博士(理学または工学)
防衛大学校 総合安全保障研究科後期課程	平成 21 年 2 月 13 日	3 年	7	1	(0)	12	(0)	博士(安全保障学)
国立看護大学校研究課程部 看護学研究科後期課程	平成 27 年 2 月 13 日	3 年	3	-	-	-	-	博士(看護学)
合 計				30	(4)	523	(4)	

() 内は修了見込申請で内数

質保証連携

諸外国の質保証制度・動向情報の収集・整理・提供

○平成 28 年度大学質保証フォーラム開催決定

平成 28 年度の大学質保証フォーラムについて、8 月 5 日（金）に一橋講堂で開催することが決定しました。

今回は、大学の内部質保証と第三者評価の有機的な組み合わせ方について、国内外の動向を踏まえ国公立大学等関係機関による様々な考察をもとに議論を深める予定です。

フォーラムの詳細及び事前参加登録の情報は、6 月下旬ごろ当機構のウェブページに掲載する予定です。

機構の窓

○会議の開催状況

・学位審査会

第1回 平成28年5月13日（金） 15時00分～17時00分

議事

- （1）学位取得者数について
- （2）短期大学及び高等専門学校卒業等に係る学士の学位授与の審査について
- （3）認定課程修了者に係る修士の学位授与の審査について
- （4）認定課程修了者に係る博士の学位授与の審査について
- （5）平成28年度認定課程に係る教育の実施状況等の審査について
- （6）平成29年度認定課程に係る教育の実施状況等の審査について
- （7）短期大学及び高等専門学校の認定専攻科の特例適用認定に係る審査について
- （8）認定課程修了者に係る学士の学位授与申請について
- （9）その他

・大学機関別認証評価委員会

第1回 平成28年5月20日（金） 15時00分～16時30分

議事

- （1）評価部会の編成等について
- （2）運営小委員会の編成について
- （3）専門委員選考委員会の選考について
- （4）大学機関別認証評価自己評価実施要項について
- （5）3巡目の認証評価について
- （6）消費税増税に伴う評価手数料の改定について
- （7）その他

・高等専門学校機関別認証評価委員会

第1回 平成28年5月27日（金） 13時30分～15時30分

議事

- （1）委員長等の選出について
- （2）評価部会の編成等について
- （3）専門委員選考委員会の編成について
- （4）3巡目の高等専門学校認証評価の検討状況について
- （5）消費税増税に伴う評価手数料の改定について
- （6）その他

・国立大学教育研究評価委員会

第43回 平成28年5月20日（金） 10時30分～11時30分

議事

- （1）国立大学教育研究評価委員会専門委員の配置について
- （2）達成状況判定会議及び現況分析部会の審議事項について
- （3）達成状況判定会議のグループリーダー及びサブリーダーについて
- （4）運営小委員会及び意見申立審査会の構成員の選任方針について
- （5）規定及び評価実施要項等の整備について
- （6）今後のスケジュールについて
- （7）その他

○委員の異動

・学位審査会審査委員

学位審査会審査委員19人全員の任期満了に伴い、4人の方々が退任され、15人の方々が再任され、4人の方々が新たに就任されました。

退任（平成28年3月31日任期満了）

氏 名	退 任 時 の 職	在 任 期 間
板 倉 駿 夫	日本大学教授	平成24年4月16日～平成28年3月31日
井 上 智 子	東京医科歯科大学教授	平成17年4月1日～平成28年3月31日
田 中 亨 胤	近大姫路大学特任教授	平成21年4月1日～平成28年3月31日
毛 利 尚 武	大学評価・学位授与機構教授	平成22年4月1日～平成28年3月31日

学位審査会審査委員19人

任期は平成28年4月18日～平成30年3月31日

氏 名	現 職	氏 名	現 職
○大 芝 亮	青山学院大学教授	高 戸 毅	東京大学教授
大 野 徹 也	東京学芸大学教授	中 村 聡	東京工業大学教授
奥 田 晴 樹	立正大学教授	奈 良 信 雄	大学改革支援・学位授与機構 特任教授
奥 乃 博	早稲田大学教授	西 出 和 彦	東京大学教授
影 山 和 郎	東京大学教授	野 坂 泰 司	学習院大学教授
菊 池 和 朗	東京大学教授	本 田 彰 子	東京医科歯科大学教授
越 光 男	大学改革支援・学位授与機構 特任教授	松 尾 大	東京藝術大学教授
◎酒 井 善 則	放送大学特任教授	柳 本 雄 次	東京家政大学教授
佐 藤 慎 司	東京大学教授	吉 川 裕美子	大学改革支援・学位授与機構 教授
鈴 木 恵美子	お茶の水女子大学教授		

■は新任（◎:委員長、○:副委員長）

・大学機関別認証評価委員会委員

大学機関別認証評価委員会委員28人全員の任期満了に伴い、10人の方々が退任され、18人の方々が再任されるとともに、新たに7人の方々が就任されました。

退任（平成28年4月30日任期満了）

氏 名	退 任 時 の 職	在 任 期 間
一 井 眞比古	香川大学名誉教授	平成 24 年5月1日～平成 28 年4月 30 日
尾 池 和 夫	京都造形芸術大学長	平成 20 年5月1日～平成 28 年4月 30 日
梶 谷 誠	電気通信大学学長顧問	平成 18 年5月1日～平成 28 年4月 30 日
郷 通 子	名古屋大学理事	平成 22 年5月1日～平成 28 年4月 30 日
河 野 通 方	東京大学名誉教授	平成 20 年5月1日～平成 28 年4月 30 日
児 玉 隆 夫	大阪市立大学名誉教授	平成 18 年5月1日～平成 28 年4月 30 日
小 間 篤	秋田県立大学理事長・学長	平成 18 年5月1日～平成 28 年4月 30 日
鈴 木 典比古	国際教養大学理事長・学長	平成 22 年5月1日～平成 28 年4月 30 日
ハス ムゲ ソ・マルク	南山学園理事長	平成 16 年5月1日～平成 28 年4月 30 日
矢 田 俊 文	九州大学名誉教授 北九州市立大学名誉教授	平成 24 年5月1日～平成 28 年4月 30 日

大学機関別認証評価委員会委員25人

任期は平成28年5月1日～平成30年4月30日

氏 名	現 職	氏 名	現 職
浅 原 利 正	広島県病院事業局・病院事業 管理者	中 島 恭 一	富山国際大学長
荒 川 正 昭	新潟県健康づくり・スポーツ 医科学センター長	野 嶋 佐由美	高知県立大学副学長
アリソン・ピール	オックスフォード大学日本 事務所代表	濱 田 純 一	放送倫理・番組向上機構 (BPO) 理事長
稲 垣 卓	福山市立大学長	早 川 信 夫	日本放送協会解説委員
及 川 良 一	国立音楽大学教授	古 沢 由紀子	読売新聞東京本社編集局教 育部部長
荻 上 紘 一	前 大妻女子大学長	前 田 早 苗	千葉大学教授
片 山 英 治	野村證券株式会社主任研究 員	柳 澤 康 信	岡山理科大学長
川 嶋 太津夫	大阪大学教授	山 極 壽 一	京都大学総長

下 條 文 武	新潟大学名誉教授	山 本 健 慈	国立大学協会専務理事
近 藤 倫 明	北九州市立大学長	山 本 進 一	岡山大学理事・副学長（研究担当）
○佐 藤 東洋士	桜美林学園理事長・桜美林大学総長	◎吉 川 弘 之	科学技術振興機構特別顧問
鈴 木 賢次郎	東京大学名誉教授	吉 田 文	早稲田大学教授
土 屋 俊	大学改革支援・学位授与機構教授		

■は新任（◎:委員長、○:副委員長）

・高等専門学校機関別認証評価委員会委員

高等専門学校機関別認証評価委員会委員の16人全員の任期満了に伴い、9人の方々が退任され、7人の方々が再任されるとともに、新たに11人の方々が就任されました。

退任（平成28年4月30日任期満了）

氏 名	退 任 時 の 職	在 任 期 間
池 田 雅 夫	大阪大学副学長	平成 22 年5月1日～平成 28 年4月 30 日
落 合 英 俊	九州大学名誉教授	平成 22 年5月1日～平成 28 年4月 30 日
小 島 勉	育英学院常務理事	平成 18 年5月1日～平成 28 年4月 30 日
米 谷 正	富山高等専門学校名誉教授	平成 24 年5月1日～平成 28 年4月 30 日
谷 垣 昌 敬	京都大学名誉教授	平成 22 年5月1日～平成 28 年4月 30 日
丹 野 浩 一	前 一関工業高等専門学校長	平成 24 年5月1日～平成 28 年4月 30 日
長 谷 川 淳	北海道大学名誉教授	平成 22 年5月1日～平成 28 年4月 30 日
柳 下 福 藏	前 沼津工業高等専門学校長	平成 24 年5月1日～平成 28 年4月 30 日
吉 川 裕美子	大学改革支援・学位授与機構教授	平成 26 年5月1日～平成 28 年4月 30 日

高等専門学校機関別認証評価委員会委員18人

任期は平成28年5月1日～平成30年4月30日

氏 名	現 職	氏 名	現 職
揚 村 洋一郎	東海大学付属仰星高等学校 中部校長	但 野 茂	函館工業高等専門学校長
荒 金 善 裕	前 東京都立産業技術高等専 門学校長	田 中 英 一	東海職業能力開発大学校校 長
有 信 睦 弘	理化学研究所理事 日本技術者教育認定機構会 長	徳 田 昌 則	東北大学名誉教授
井 上 光 輝※	豊橋技術科学大学理事・副学 長	○長 島 重 夫	元 (株)日立製作所教育企画部 シニアコンサルタント
鎌 土 重 晴	長岡技術科学大学理事・副学 長	中 野 裕 美	豊橋技術科学大学教授・学長 補佐
萱 島 信 子	国際協力機構 JICA 研究所 副所長	廣 畠 康 裕	大学改革支援・学位授与機構 特任教授
黒 田 孝 春	前 長野工業高等専門学校長	三 谷 知 世	宇部工業高等専門学校長
越 光 男	大学改革支援・学位授与機構 特任教授	◎武 藤 睦 治	長岡技術科学大学名誉教授
佐 藤 知 正	東京大学名誉教授	村 田 圭 治	近畿大学工業高等専門学校 長

■ は新任 (◎:委員長、○:副委員長)

(※任期は、平成28年5月1日～平成30年3月31日)

主要行事日程

○ Schedule

6月

日	行事名	担当課
1日	法科大学院認証評価委員会（第1回）	評価支援課
5日	大学改革支援・学位授与機構試験（東京・大阪）	学位審査課
13日	法科大学院認証評価に関する説明会	評価支援課
13日	平成29年度に実施する法科大学院認証評価に関する自己評価担当者等に対する研修会	評価支援課
17日	大学機関別認証評価に係る評価担当者に対する研修	評価支援課
17日	高等専門学校機関別認証評価に係る評価担当者に対する研修	評価支援課

7月

日	行事名	担当課
12日	大学ポートレート運営会議（第5回）	大学ポートレートセンター事務室

8月

日	行事名	担当課
5日	大学質保証フォーラム	国際課
19日	学位審査会（平成28年度第2回）	学位審査課

